

平成24年度 第1回豊田市防災会議 会議録

日 時 平成25年1月24日（木） 13時30分から15時00分

場 所 南51会議室

出席者 会長、委員33名

（35名中33名の出席により、過半数を超えており本会は有効に成立）

□ あいさつ

豊田市長 太田 稔彦

□ 議 事

1 豊田市防災会議条例の改正について （説明：事務局）

（1）災害対策基本法の改正について

東日本大震災から得られた教訓を今後に生かし、災害対策の強化を図るため、平成24年6月27日に災害対策基本法（以下「災対法」という。）が改正され、市町村防災会議の所掌事務及び委員構成並びに市町村災害対策本部の規定条文が見直された。

（2）豊田市防災会議条例の改正について

災対法第14条及び第15条の改正に伴い、豊田市防災会議の所掌事務及び委員構成を修正した。なお、市町村防災会議の組織及び所掌事務については、災対法第16条第6項で、都道府県防災会議の例に準じて各市町村の条例で定めることとされている。

【質疑・意見等】

- ・質疑意見なし

2 豊田市地域防災計画の改訂について （説明：事務局）

（1） 主な修正事項

ア （仮称）豊田市防災基本条例制定に向けた修正

東日本大震災はこれまでの想定を超える被害を各地にもたらした。さらなる地域防災力の向上を図るために、自助、共助、公助の理念に基づいて市民、事業者及び市が連携し、共働して災害対策を推進するため、防災に関する基本条例を制定する旨の記載を追加する。

イ 豊田市業務継続計画作成による修正

平成24年9月に豊田市業務継続計画を作成したことに伴い、より実効性のある計画とするため、研修・訓練等の実施や、計画の修正などを行う旨の記載を追加する。

※作成した豊田市業務継続計画は当日資料として配布

ウ 災害対策本部体制に係る修正

(ア) 災害対策本部室の修正

(イ) 非常配備基準の修正

エ 愛知県地域防災計画の修正を踏まえた修正事項

国の防災基本計画の修正に伴う事項等について、愛知県地域防災計画の修正にあわせて修正し、県計画との整合を図る。

(ア) 避難者・災害時要援護者対策

(イ) 広域応援体制の整備

(ウ) 水・食品・生活必需品等の供給

(エ) 民生安定のための緊急措置

【質疑・意見等】

○平成25年度の商工会議所からの要望の中に、業務継続計画の策定についての支援の要望があったが、市内の業務継続計画の策定状況はいかがか。

・昨年9月に要望書を市に提出。特に中小企業は、策定の支援が必要であり、現在、商工会議所が中小企業の支援をしている。市としての援助を期待したい。

○愛知県（防災局）からの情報提供

国の状況として、被害想定（経済被害等）推計結果の公表が当初平成24年秋頃と予定されていたものが年明け（2月）頃、最終報告の公表が年度内と進捗に遅れが発生しており、愛知県の平成25年6月頃を想定していた被害予測結果の公表についても、影響を受けることが予測される。

○愛知県の被害予測結果は3連動と南海トラフを想定したものなのか

・現段階では不明である。

・市は愛知県の被害予測結果を受け、大規模改訂を行っていく予定である。

【採決】

・異議なし 原案通り承認

3 豊田市水防計画の改訂について

（説明：事務局）

(1) 平成24年度の主な改訂について

ア 水防非常配備体制の変更

(2) 重要水防箇所の改正

改修工事の進捗に合わせて重要水防箇所から削除された区間、現地調査等により新たに重要水防箇所として追加された区間を修正するとともに、重要水防箇所の認定基準を資料編から本編へ記載することで、県計画との整合を図る。

【質疑・意見等】

- 水防計画新旧対照表（案）の重要水防箇所には巴川の記載がないが指定状況はどうなっているか。
- ・今回の改訂については変更がないので掲載していないが水防計画本編には巴川の記載がある。

【採決】

- ・異議なし 原案通り承認

4 平成24年度の非常配備等について （説明：事務局）

（1）風水害等について

平成24年度12月までに、準備体制を35回（昨年42回）、うち第1非常配備体制を9回（昨年7回）、うち第2非常配備体制を2回（昨年2回）実施した。

（2）地震について

平成24年度配備なし

（昨年、平成23年12月14日の震度4の地震で、第1非常配備体制を1回。被害なし。）

（3）台風第17号における非常配備の概要について

天気概況及び非常配備体制、避難勧告等について説明。

【質疑・意見等】

- ・質疑意見なし

5 平成24年度実施の防災訓練等について （説明：事務局）

（1）平成24年度愛知県・豊田市総合防災訓練

訓練の特徴

ア 東日本大震災での教訓や豊田市の取組みを踏まえた訓練

非常時電源供給訓練 I T S 技術を活用した災害時の最適移動支援システム等のデモ

イ 企業との連携訓練

緊急放送訓練等

ウ 孤立集落（冷田地区）の発生を想定した訓練

エ 実際の避難場所を使用し、実践的な避難場所運営訓練

オ 航空自衛隊による他機関も含めた航空機の統制訓練

（2）豊田市市民防災総合演習

平成9年度よりコミュニティ単位で実施しており、地域住民により、実行委員会を組織し企画・運営にあたっている。地域の実情に即した土砂災害による訓練として、地域予算提案事業で作成された「小原地区土砂災害防災行動マニュアル」を活用し、地域でまとめたルールによる訓練とした。

【質疑・意見等】

- 平成24年度愛知県・豊田市総合防災訓練についての意見
- ・住民主体の防災訓練を実施して欲しい。
- ・住民の意識が向上するような訓練を実施して欲しい。
- ・自衛隊の方との合同訓練が実施できた。
- ・訓練の全体像がつかめるとよい。

6 その他

- 東日本大震災から2年経ち、住民の意識が低下していくけれど、防災訓練等規模を縮小せず実施してほしい。

以上で全議事が終了